

2012年2月9日(木)

財団法人 日本サッカー協会

2011年度 第10回理事会

協議事項

<p>1. 2011年度 公認S級コーチ養成講習会判定結果の件</p> <p>全てのコースを修了し、筆記試験・口頭試験・指導実践・レポート全てにおいて合格したため、以下の2名を公認S級コーチとして認定したい。</p> <p>氏名：<u>實好 礼忠 (さねよし のりただ)</u></p> <p>指導チーム：ガンバ大阪</p> <p>生年月日：1972年10月19日</p> <p>資格：2010年 A級ライセンス</p> <p>指導歴：2008年～2009年 ガンバ大阪ユース コーチ 2009年～現在 ガンバ大阪 コーチ</p> <p>氏名：<u>三浦 文丈 (みうら ふみたけ)</u></p> <p>指導チーム：横浜F・マリノスジュニアユースU-15</p> <p>生年月日：1970年8月12日</p> <p>資格：2011年 A級ライセンス</p> <p>指導歴：2007年～2008年 FC東京 コーチ 2008年～2009年 FC東京U-15 むさし コーチ 2009年～2010年 横浜F・マリノス コーチ 2010年～現在 横浜F・マリノスジュニアユース 監督</p> <p>※ <u>現S級コーチライセンス保持者数：347名（上記2名含む）</u> (S級保持者数：2012年1月5日時点登録者数)</p> <p>※ <u>2011年度公認S級コーチ認定者数：2名/21名（上記2名含む）</u></p>
<p>2. 各種フットサル大会およびリーグ戦における指導者資格保有義務の件</p> <p>(協議) 資料No.1</p> <p>別紙の通り定めたい。</p>
<p>3. 日本人指導者海外派遣の件</p> <p>(協議) 資料No.2</p> <p>ヨルダンサッカー協会からの要請を受け、アジア貢献事業の一環として、以下の指導者を派遣したい。派遣時期は3月末を予定している。</p> <p>派遣者：沖山雅彦 (おきやま まさひこ) /43歳</p> <p>派遣先協会：ヨルダンサッカー協会</p> <p>資格：公認A級コーチ (2007年取得) *公認S級コーチ取得見込 (2012年3月)</p> <p>役職：ヨルダン女子代表監督 兼 トレセン統括</p> <p>契約期間：2012年4月1日～2013年1月31日</p> <p>費用負担：[JFA] 給与の一部及び傷害保険料 [ヨルダンFA] 給与の一部、住居・自動車、日本-ヨルダン間の航空券</p>

<p>略 歴： 添付別紙のとおり</p> <p><背景及び実施理由></p> <p>ヨルダン女子代表チームは現在 FIFA 女子ランキング 60 位 (AFC 内では 13 位) であるが、国内 8 拠点のトレセンにおいて女子の育成も体系的にきちんと始めており、真摯に女子育成に注力しはじめた協会のひとつである。また JFA との友好関係も安定している。</p> <p>ヨルダン協会としては女子の各年代代表チームの監督と女子トレセン統括の役割を日本人指導者に期待しており、将来的な女子の育成・強化の基盤を築く任務を担うことになる。その意味で沖山氏の女子の指導育成における豊富な経験が十分に生きるものと思われる。</p> <p>ヨルダン協会は複数年の派遣を望んでいるが、それを前提に最初の契約期間は来年 1 月 31 日までとし、その後毎年更新していくこととしたい。</p> <p>中東への JFA からの長期指導者派遣は本件が初めてであるが、日本人指導者の活躍の場を更に広げていくためにも意義ある派遣だと考えられる。</p>
<p>4. 日本サッカー後援会 会員表彰の件</p>
<p>日本サッカー後援会会員として 30 年在籍した者に対し、本協会として、永年に亘る援助に対する感謝として、以下の通り表彰したい。尚、本表彰制度は 2008 年より実施している。</p> <p>(1) 対象者：12 名(参考：2011 年 17 名、2010 年 22 名、2009 年 48 名、2008 年 101 名)</p> <p>(2) 表彰内容：①感謝状及び記念楯の贈呈</p> <p style="padding-left: 40px;">②2012 年度に、日本代表戦 1 試合ご招待</p> <p><参 考>日本サッカー後援会からの後援金収入</p> <p>2004 年度 70,000 千円 (JFA 60,000 千円、Lリーグ・フットサル各 5,000 千円)</p> <p>2005 年度 76,000 千円 (JFA 60,000 千円、Lリーグ・フットサル各 8,000 千円)</p> <p>2006 年度 65,000 千円 (JFA 55,000 千円、Lリーグ・フットサル各 5,000 千円)</p> <p>2007 年度 64,000 千円 (JFA 52,000 千円、Lリーグ 7,000 千円、フットサル 5,000 千円)</p> <p>2008 年度 59,000 千円 (JFA 43,000 千円、Lリーグ 5,000 千円、フットサル 10,000 千円、 こころのプロジェクト 1,000 千円)</p> <p>2009 年度 46,000 千円 (JFA 30,000 千円、Lリーグ 5,000 千円、フットサル 10,000 千円、 こころのプロジェクト 1,000 千円)</p> <p>2010 年度 47,000 千円 (JFA31,000 千円、Lリーグ 5,000 千円、フットサル 10,000 千円、 こころのプロジェクト 1,000 千円)</p>
<p>5. サッカーファミリー登録料免除措置 期間延長の件</p>
<p>東日本大震災の影響により被災された J F A 登録者に対する、登録料免除並びに資格の休止措置対応等の措置を 2012 年度も継続したい。</p> <p>◇対象：東日本大震災において被災された登録者。</p> <p style="padding-left: 40px;">被災して避難のために他都道府県へ転居している方を含め、各都道府県サッカー協会の裁量に基づく。</p> <p>◇免除対象項目：</p> <p style="padding-left: 40px;">チーム、監督、機関誌購読料、選手、フットサル個人、審判(2013 年度分)、指導者、役員</p> <p>◇免除額：各登録料のうち、J F A 登録料にあたる額</p> <p>◇各登録料免除の対応方法：</p> <p style="padding-left: 40px;">1) チーム登録料 免除</p>

2) 監督登録料 免除

3) 機関誌購読料 免除

4) 選手登録料 免除

上記4件の対応は、2011年度と同様、各都道府県サッカー協会より、免除対象チーム（監督）／選手をJFAへ申請いただき、当該チーム／（監督）／選手に対しては、各都道府県サッカー協会への登録料及び機関誌購読料の請求は行わない。

5) フットサル個人登録料 免除

2011年度と同様、対象者は直接個人でKickOffへの申請を行わず、各都道府県サッカー協会へ申請書により手続きを行い、事務局にて代行申請を行う。申請のあった対象者分については、各都道府県サッカー協会への登録料請求は行わない。

6) 審判登録料 免除（2013年度分に適用）

各都道府県サッカー協会では被災地専用の講習会を KickOff 上に設定する。審判員等は KickOff を利用して申込みするが、支払いは行わず、講習会場で減免された額を別途支払う。講習会の担当者は（あるいは講習会単位でまとめてJFAに報告）は審判員等のデータを「支払い済み」に変更するとともに、JFAに必要な情報を連絡する。

※2012年度への更新については、既に対応方法について通知済み。2011年度末までに更新に関する手続きが終了しない場合であっても、「失効」とはせず「休止」とし、「休止」から「更新」へ復活できる期間については、今後、都道府県サッカー協会が個別に決定することとする。

7) 指導者登録料 免除

登録料の引き落としを行わない。既に引き落とし済みの対象者に対しては、返金手続きを行う。

その他実施予定：

- ・リフレッシュポイント獲得期間の延長（リフレッシュポイント未達による失効者対象）
震災の影響によりリフレッシュポイントを規定期間に獲得できなかった方に対し、リフレッシュポイントの獲得期限を6か月間延長する。
- ・資格の休止措置（登録料未納による失効者対象）
震災の影響により期日までに指導者登録料を支払うことができず資格を失効してしまった方に対し、後日所定の申請を行い、登録料を支払うことで失効扱いにせずライセンスを更新する。

8) 役員登録料 免除

各都道府県サッカー協会とも対象者の登録料の請求を行わない。

※参考データ：2011年度12月末時点 登録料免除実績

協会名	免除申請数						免除額計
	チーム	機関誌	監督	選手	フットサル	役員	
北海道	0	0	0	1	0	0	¥700
青森県	0	0	0	28	0	0	¥31,200
岩手県	52	52	24	1,402	235	0	¥2,102,200
宮城県	125	125	72	3,734	517	0	¥5,462,700
秋田県	0	0	0	2	0	0	¥1,400

山形県	0	0	0	13	0	0	¥10,300
福島県	113	113	38	3,375	454	8	¥4,558,200
茨城県	0	0	2	648	20	0	¥790,400
群馬県	0	0	0	2	0	0	¥1,400
埼玉県	0	0	0	9	0	0	¥8,900
千葉県	0	0	0	10	0	0	¥124,200
新潟県	0	0	0	6	0	0	¥4,200
石川県	2	2	1	47	0	1	¥122,000
三重県	0	0	0	2	0	0	¥1,400
大阪府	0	0	0	1	0	0	¥1,000
兵庫県	0	0	0	1	0	0	¥1,000
高知県	0	0	0	1	0	0	¥1,000
大分県	0	0	0	1	0	0	¥700
宮崎県	0	0	0	1	0	0	¥700
総計	292	292	137	9,284	1,226	9	¥13,223,600

6. 2012年度ナショナルトレセンコーチ〔女子担当〕の件

(協議) 資料No.3①②

2012年度のナショナルトレセンコーチ〔女子担当〕を別紙の通りとしたい。

7. 日本女子ユース東北選抜 ブラジル遠征の件

東日本大震災復興支援の一貫として、本協会にて標記チームを編成し、遠征したい。

行事名：日本女子ユース東北選抜 ブラジル遠征

主 催：あしなが育英会

期 間：2012年2月26日（日）～3月7日（水）

遠征先：ブラジル

備 考：本遠征に係る経費は、あしなが育英会が負担する。

[スタッフ]

監督：高倉 麻子（(財)日本サッカー協会ナショナルコーチングスタッフ）

GKコーチ：川島 透（(財)日本サッカー協会ナショナルコーチングスタッフ）

[選手] 16名招集予定

8. 地域育成審判インストラクター契約の件

(協議) 資料No.4

以下の13名の審判インストラクターと地域育成審判インストラクター契約を結びたい（12人更新、1人新規、1人更新なし。合計人数は昨年と同じ）。契約期間は、2012年3月1日～2013年2月28日。（年齢は2012年3月1日現在で、リストは地域順）

<更新>

① 北海道 木島 栄（きじま さかえ） 53歳

② 東北 伊藤力喜推（いとう りきお） 54歳

③	関 東	植村 久 (うえむら ひさし)	61 歳
④	関 東	遠山 昭仁 (とおやま あきひと)	56 歳
⑤	関 東	上荒 敬司 (かみあら けいじ)	52 歳
⑥	北信越	谷内 浩仁 (たにうち こうじ)	54 歳
⑦	東 海	土本 泰 (つちもと やすし)	54 歳
⑧	関 西	三宅 毅 (みやけ つよし)	56 歳
⑨	関 西	辺見 康裕 (へんみ やすひろ)	54 歳
⑩	中 国	山西 博文 (やまにし ひろふみ)	48 歳
⑪	四 国	河野 暁 (かわの さとる)	56 歳
⑫	九 州	原田 秀昭 (はらだ ひであき)	52 歳
<新規>			
⑬	関 東	濱名 哲也 (はまな てつや)	59 歳
9.	J F A ロングパイル人工芝ピッチ公認 (新規) の件		
(新規)			
1. 公認申請者：神奈川県藤沢市			
施 設 名：秋葉台公園球技場			
施 設 所 有 者：藤沢市長 海老根 靖典 (えびね やすのり)			
ロングパイル人工芝：スーパーターフ (ST-60RS) / 大塚家具製造販売㈱			
公 認 期 間：2012年2月9日～2015年2月8日			
公 認 番 号：第117号			
<特記事項>			
◆ スーパーターフ (ST-60RS) / 大塚家具製造販売㈱は製品検査 (ラボテスト) を完了し、JFA ロングパイル人工芝基準を満たしている。			
◆ 公認規程に基づき2回の検査 (フィールドテスト) を実施し、JFA ロングパイル人工芝基準を満たしている。			
10.	2012年 J F A アカデミースタッフ体制の件		
(協議) 資料No.5			
2012年2月1日より、J F A アカデミースタッフ体制を別紙の通りとしたい。			
11.	2012J リーグ U-13 大会概要の件		
(協議) 資料No.6			
大会概要を別紙資料の通りとしたい。			